



福田美術館
FUKUDA ART MUSEUM
SAGA ARASHIYAMA

PRESS RELEASE

報道関係者各位

2020.6
福田美術館

「大観と春草 -東京画壇上洛-」 企画展開催について

京都・嵐山で愛でる東京画壇の秀作たち

開館展より第4回目となる福田美術館の企画展は、横山大観・菱田春草をはじめとする東京画壇の作品を展示致します。

福田コレクションの中核の一つを成す東京画壇の名匠たちの作品を、涼やかな大堰川の清流とともに、京都・嵐山でお楽しみください。〈担当学芸員：福田美術館／中村七海〉

日本画壇の巨匠と言え、誰もが横山大観の名を思い浮かべるのではないのでしょうか。彼の描いた富士山の絵は、圧倒的な存在感をもって我々の記憶に刻まれています。

しかし、大観の画風は当初から大衆に受け入れられたわけではなく、むしろ斬新すぎたため、「伝統を台無しにしている」という批判も受けました。

これに対して大観は、盟友・菱田春草と共に西洋画や琳派などの古美術研究に励み、新しい画風を確立していきます。



横山大観「霊峰不二」(部分)



菱田春草「青波舟行」(部分)

日時	2020年8月1日(土)～10月11日(日) 10:00～17:00 (最終入館16:30) 前期：8/1(土)－8/31(月)・後期：9/2(水)－10.11(日)
休館	毎週火曜日
料金	一般・大学生 ¥1,300 (1,200) / 高校生 ¥700 (600) / 小中学生 ¥400 (300) 障がい者と介添人1名まで ¥700 (600) ※ () 内は20名以上の団体
主催	福田美術館・京都新聞

「出かけるときは、いつでも二人は一緒でした。」（大観）

情熱的で感情派の大観に対して冷静で理知的な春草。対照的な性格のふたりでしたが、美術学校の頃より仲が良く、模写へ行く時も一緒でした。後に大観が海外へ渡ることになってからも春草に声をかけて連れ立って行き、苦楽を共にしながら互いに成長します。

しかし春草は眼病を患った上、36歳という若さで亡くなってしまいました。

1Fギャラリーでは絶筆となった屏風作品「早春」を展示予定。短くも画業に心血を注いだ春草の軌跡や大観との友情、才能あふれる2人の画家にフォーカスしその作品の魅力を伝えます。



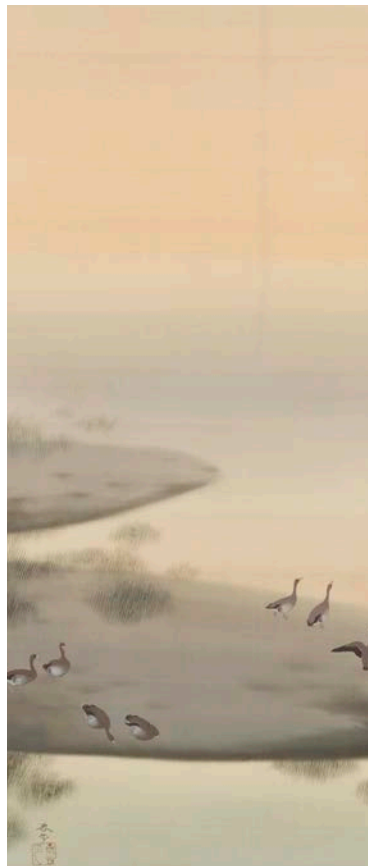
横山大観「水国之夜」(部分)



菱田春草「早春」(部分)

明治・東京。激動のさ中、日本画を改革した東京画壇

福田美術館のコレクションは竹内栖鳳をはじめとする京都画壇が主軸となっておりますが、同じ時代を生きた東京画壇の作品も数多く所蔵しております。今回は大観の作品およそ30点と菱田春草の作品約20点に加え、**2Fギャラリー**を中心に下村観山、川合玉堂ら日本美術院の画家などの作品も展示。また、横山大観、竹内栖鳳をはじめ東西大家48名による寄合帖、「雲錦帖」など約40点の作品が初公開となります。〈前作品総数：約40点／前期後期総計〉



日本画が宝石のように美しい秘密とは

直に観る日本画の美しさは時代を超えて人々に感動を与えますが、現代アートや洋画と異なり、特に最近の若い世代にとって身近なものではありません。

そこで「たとえ美術に詳しくない人が見ても楽しめる」という福田美術館のコンセプトのもと、パノラマギャラリーでは、作品とともに日本画で実際に使用される画材道具、高価な原料から作られるそのままでも美しい顔料（絵具）なども並べ、日本画がどう作られているのか？どんな描き方があるのか？というのが、一目でわかるようにご紹介したいと思います。



プレス用画像一覧



01._横山大観「霊峰不二」



02._菱田春草「青波舟行」

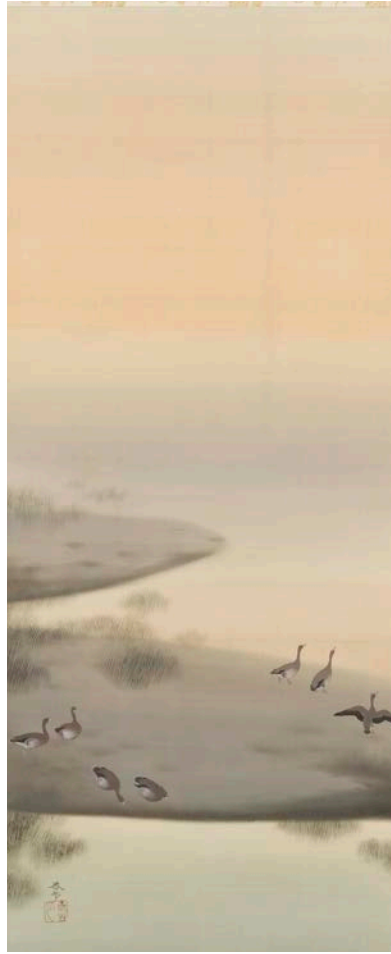


03._小林古径「桃実」

プレス用画像一覧



04._横山大観「緑隠高士」



05._菱田春草「雁之図」



06._菱田春草「春庭」



07._下村観山観「降魔図」



08_横山大観「嵐之行へ」

※菱田春草絶筆「早春」、寄合帖「雲錦帖」の画像は7月以降支給予定

福田美術館について

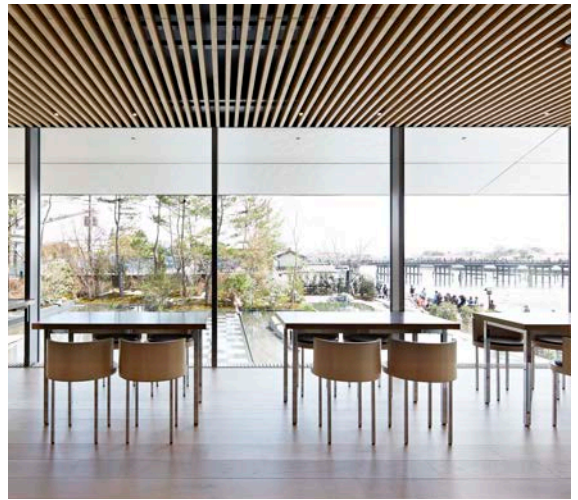
美しい自然と日本美術の融和。日本文化の新たな発信拠点として

美術館の建つ京都・嵯峨嵐山は古来歌枕でもある場所で、多くの貴族や文化人に愛され芸術家たちが優れた作品を生み出す源泉となってきた。

福田美術館は、「100年続く美術館」をコンセプトに、現代まで受け継がれてきた日本文化を次世代に伝え、さらなる発展へと繋ぐ美術館を目指す。

オーナーである福田吉孝は京都に生まれ育ち、そこで事業を興し、今日まで続けてきたことに対し、地元の方々のご支援とこの地に恩返しをしたいという思いから、2019年10月、美術館の設立に至った。

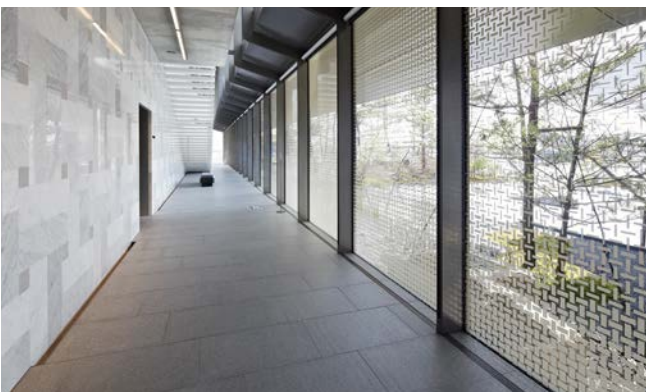
今や日本国内だけでなく、世界中から多くの人々が訪れる観光地である嵐山。その中でも渡月橋を望む大堰川（桂川）沿いの景勝地に位置し、四季折々でそれぞれに変化する風景は1000年変わらず人々を魅了する。この美しい自然とともに日本美術の名品を愉しむことで、嵐山が世界有数の文化発信地となることを願う。



嵐山にふさわしい、未来へむけた日本建築の形

福田美術館の建築を手掛けた安田幸一氏は、「蔵」をイメージした展示室や外の自然とのつながりを感じられる「縁側」のような廊下など、伝統的な京町家のエッセンスを踏まえつつ、これから100年のスタンダードとなるような新しい日本建築を目指したという。

また、庭には大堰川に連なる水鏡のごとく嵐山を映し出す水盤が設けられており、渡月橋が最も美しく一望できるカフェからは最高の眺めを味わえる。



福田美術館概要

- 名称：福田美術館／Fukuda Art Museum
- 住所：〒616-8385 京都府京都市右京区嵯峨天龍寺芒ノ馬場町3-16
- 電話番号：075-863-0606（FAX）075-863-0607
- メールアドレス：info@fukuda-art-museum.jp
- ホームページ：<https://fukuda-art-museum.jp>



- 敷地面積：1982㎡
- 延床面積：1193.58㎡
 - ・ 展示室1／151.2㎡
 - ・ 展示室2／175.4㎡
 - ・ 展示室3／64.5㎡
- 交通アクセス：
 - ・ JR山陰本線「嵯峨嵐山」駅下車、徒歩12分
 - ・ 阪急嵐山線「嵐山」駅下車、徒歩11分
 - ・ 嵐電（京福電鉄）「嵐山」駅下車、徒歩4分



本展に関するお問い合わせ

福田美術館 広報事務局（ウインダム内）

TEL 03-6661-9448 FAX 03-3664-3833

Email fukudamuseum@windam.co.jp

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-28-9-4F

「福田美術館」広報事務局

担当：沼澤、多田